

## 基礎病態・社会医学演習

責任者・コーディネーター	機能病態学分野 増田 友之 教授		
担当講座・学科(分野)	医学教育学講座、病理診断学講座、分子医化学分野、情報伝達医学分野 衛生学公衆衛生学講座、感染症学・免疫学分野、機能病態学分野		
担当教員	佐藤 洋一 教授、川崎 朋範 准教授、古山 和道 教授、平 英一 教授 坂田 清美 教授、村木 靖 教授、久保田 美子 准教授、佐藤 孝 教授 吉野 直人 特任准教授		
対象学年	3	区分・時間数	講義 21.0 時間
期間	前期		

### ・学習方針（講義概要等）

医療の実践には、医学領域に関する基盤知識の修得ばかりでなく、個々の患者の病態生理を正確に把握し、適切な治療に結びつける問題解決能力を必要とする。そのためには、生命科学や衛生環境を含む基礎医学と各種疾病の病因、病態に関する知識を統合する能力が要求される。本演習では、2学年で学んだ基礎医科学の知識と3学年前期で学んだ疾病の病因・病態生理、診断に関する基盤知識を統合・整理する能力を演習形式で涵養する。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### ・教育成果（アウトカム）

診断・治療の実践に必要な、基礎医科学（基礎医学・生命科学）と疾病の病因・病態に関する基盤知識を統合して、病態生理を理解し問題を解決する能力を示すことができる。

### ・到達目標（SBO）

個々の行動目標は授業担当者毎に授業の開始時に提示される。  
以下、基礎病態・社会医学演習として行動目標の概要を示す。

- 1) 演習問題の作問意図を指摘できる。
- 2) 演習問題の関連知識を説明できる。
- 3) 正解を導くに至った基礎知識と思考過程を説明できる。

### ・講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

#### 【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/16	木	1	機能病態学	増田 友之 教授	病理学総論 I : 1

			分野		病理学総論で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
4/16	木	2	分子医化学分野	久保田 美子 准教授	分子生物学：1 分子生物学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
4/17	金	1	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	臨床解剖学：1 臨床解剖学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
4/23	木	1	感染症学・免疫学分野	吉野 直人 特任准教授	免疫学：1 免疫学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
4/23	木	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	感染微生物学：2 微生物学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
4/24	金	1	医学教育学講座	佐藤 洋一 教授	臨床解剖学：2 臨床解剖学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
5/1	金	1	分子医化学分野	古山 和道 教授	分子生物学：2 分子生物学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
5/8	金	1	病理診断学講座	川崎 朋範 准教授	病理学総論Ⅱ：1 病理学総論で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
5/15	金	1	機能病態学分野	佐藤 孝 教授	病理学総論Ⅰ：2 病理学総論で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
5/22	金	1	病理診断学講座	川崎 朋範 准教授	病理学総論Ⅱ：2 病理学総論で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
6/5	金	1	病理診断学講座	川崎 朋範 准教授	器官病理学Ⅱ 器官病理学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
6/12	金	1	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	疫学・環境医学 疫学・環境医学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
6/19	金	1	機能病態学分野	増田 友之 教授	器官病理学Ⅰ 器官病理学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。

6/23	火	2	情報伝達医学分野	平 英一 教授	薬理学 薬理学で履修した内容についての演習問題を実施、更に解説を行う。
------	---	---	----------	---------	--

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

前期進級試験（8月17日～8月28日）に統合型試験（200問）をMCQ方式で行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			